

イルカ通信



隔月1回発行
PDF版は無料でダウンロード
できます
(下記参照)

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA) 2006年12月1日 No. 015

小笠原で暮らすイルカたち

「聳島列島から母島列島まで」



背びれのこぶが特徴のコブちゃん(オス)



尾びれが特徴の#28(メス)

小笠原群島(聳島列島・父島列島・母島列島)のミナミハンドイルカ達は、列島間を移動していることが確認されています。しかし、イルカ調査隊の調査ではこれまでに父島列島-聳島列島間、父島列島-母島列島間の移動を確認していますが、聳島列島-母島列島間を移動しているイルカを確認していませんでした。ところが9月28日と10月3日の母島列島での調査で、以前に聳島列島で発見されたことのあるイルカを2頭発見しました。1頭はコブちゃん(個体識別番号#4)です。彼はオスのイルカで、背びれにコブがあるのが特徴です。もう1頭は個体識別番号#28のメスイルカです。少なくともこの2頭は聳島列島-母島列島間(100km以上)を移動して生活していることが分かりました。

「3組の親子イルカ」

小笠原には昔から名前がついていて、村民に親しまれているイルカがいます。11月7日の調査では、これら名前のついているイルカ達を3頭も確認することができました。ザック、フォスター、ピラス(ノッチ)という3頭のメスイルカたちです。右顔に傷のあるザックは今年6月頃に出産したことが確認されていて、今回は南島で確認されました。4つの白い斑点が特徴のフォスターと背びれに穴が空いているピラス(ノッチ)は、母島海域で確認できました。現在、これら3頭すべてが子供イルカを連れており、子供達は元気に成長しているようです。



ザック親子(向かい合わせのイルカ)
フォスター親子(左側に白い斑点があるのがフォスター)
ピラス(ノッチ:背びれに丸い穴が空いている)

第48回インタープリター(IWO)勉強会 「ツアープログラム導入の工夫(仮題)」

ツアー参加者のやる気を引き出すプログラムの導入方法を、ワークショップ形式で学びます

日時: 12月9日 19時-21時
講師: 古瀬浩史(自然教育研究センター)
場所: Bしゅぶ2階
対象: 興味のある方はどなたでも
費用: 無料
予約: なし
問合せ: 2-3215

第11回OWAホエールウォッチング・インタープリター 新規認定講習会(父島)

開催日時: 12月13日 昼の部: 14時-17時頃まで
夜の部: 18時-21時頃まで
講習内容: インタープリテーション学&小笠原の基礎知識学
対象者: 15歳以上(ガイド経験不問、クジラ&ガイドの勉強をしたい方)
講習費: 無料
持ち物: 筆記用具、飲み物
要予約: 2-3215 不在時は090-7820-0808(12月12日まで)
場所: Bしゅぶ2階会議室

小笠原ホエールウォッチング協会
〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>

Tel 04998-2-3215 e-mail owa@h6.dion.ne.jp